



LIXIL

玄関ドア 丁番

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・ 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ })
- ・ ドア本体を吊り込んだ後、本体側丁番(上/中)の軸を必ず下げてください。
- ・ 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。
- ・ 建付け調整(丁番による調整)時、丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。
- ・ ドア本体の取外し時、本体側丁番(上/中)の軸を上げずに取り外してください。

■取付け上のおお願い

●必ず指定の取付けねじで固定してください。

●各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。

●丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。

※建設工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

●本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。

●製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

■部品・部材の明細

■部品セット ※本体側丁番、枠側丁番、軸カバーは組付けられた状態です。

名称	本体側丁番 (上/中)	本体側丁番 (下)	枠側丁番 (上/中)	枠側丁番 (下)	軸カバー	枠側丁番取付けねじ 皿小ねじM4×10	本体側丁番取付けねじ 皿小ねじM4×18	取付け説明書
姿図								
2枚丁番	1個	1個	1個	1個	2個	8本	8本	1部
3枚丁番	2個	1個	2個	1個	3個	12本	12本	1部

■取付け順序

1 枠側丁番の取付け

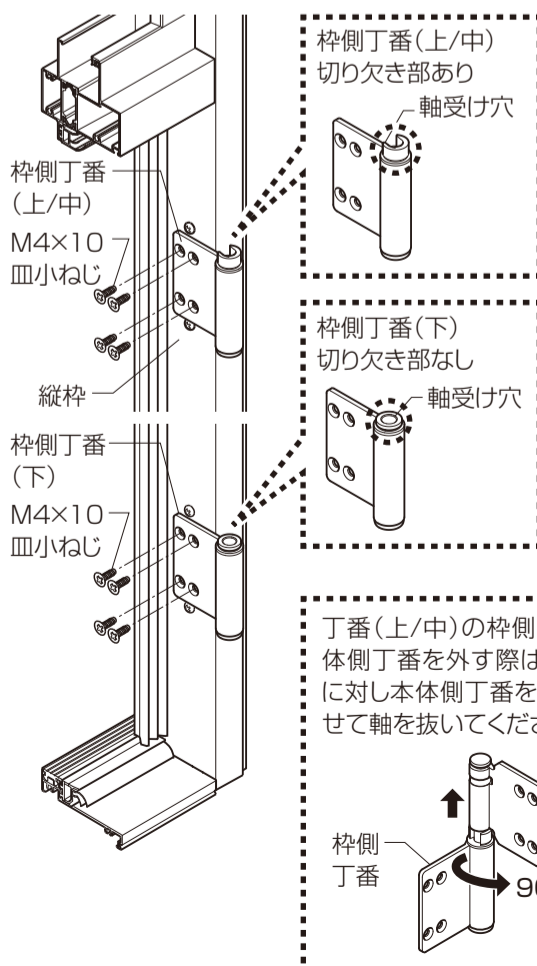
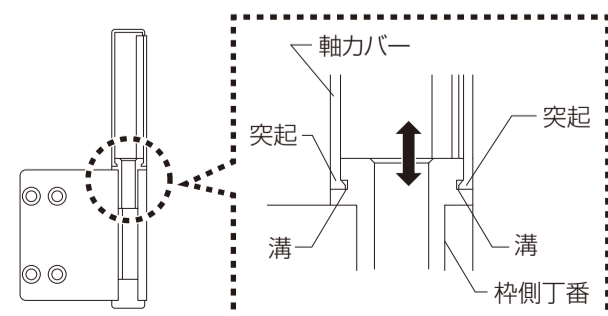
▲注意

●丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ }) ドア本体の脱落の原因となります。

①丁番(上/中)軸カバーを外してください。

②丁番には(上/中)・下の区別があります。軸受け部に切り欠きがある丁番は上、切り欠きがない丁番は下になるよう取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。M4×10 皿小ねじ)

軸カバーの取付け部

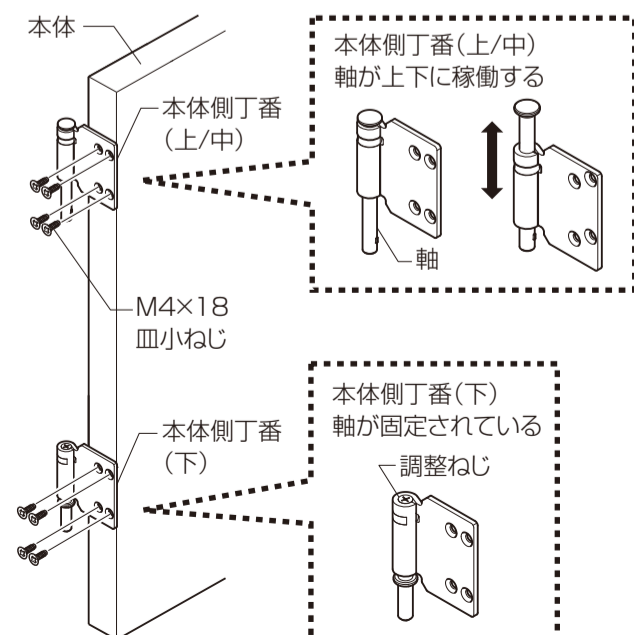


2 本体側丁番の取付け

①丁番(上/中)軸カバーを外してください。

②軸が付いている方が本体側丁番となります。

③丁番には(上/中)・下の区別があります。軸が上下に可動する丁番は上、稼働しない丁番は下になるよう取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。M4×18 皿小ねじ)

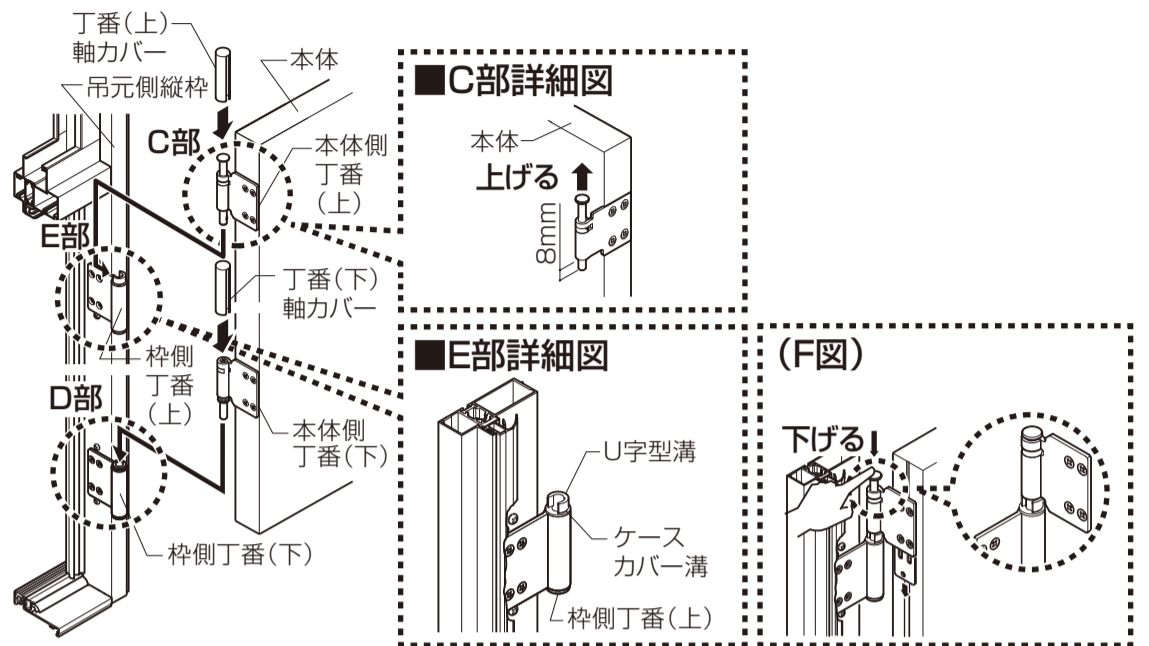


3 ドア本体の吊り込み

お願い

※製品取付け(ドア本体の吊り込み)時に枠側丁番の軸受けに木くずなどのゴミが無いことを確認し、取付けてください。異音や開閉に支障をきたす原因になります。

- ①本体側丁番(上)の軸を止まるまで上げます。(C部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ②本体側丁番(下)を枠側丁番(下)に差込みます。(D部)
- ③本体側丁番(上)の軸を枠側丁番(上)のU字型溝にはめ込み、本体を吊り込みます。(E部)
- ④扉本体の開き角度を90°にし、本体側丁番(上)軸を止まるまで下げてください。(F図)
- ⑤丁番(上)軸カバーを取付けます。
※枠側丁番(上)のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑥丁番(下)軸カバーを取付けます。
※枠側丁番(下)のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑦本体側丁番(上)の軸が下がっていることを確認してください。



4 ドア本体の取外し

注意

●本体側丁番(上/中)の軸を上げた状態で放置しないでください。本体脱落の原因になります。

- ①上下の軸カバーを外してください。
- ②ドアクローザを外してください。
- ③ドア本体を90°まで開いた状態で、垂直に持ち上げて取り外してください。

※上枠などに干渉し、左記の手順で取り外せない場合は以下の手順を行ってください。

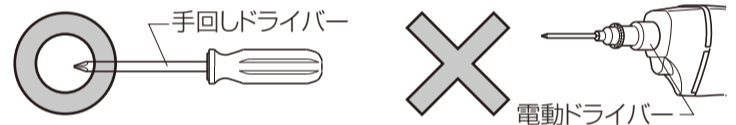
- ①上下の軸カバーを外してください。
- ②ドアクローザを外してください。
- ③3 ドア本体の吊り込み手順に対し、逆手順でドア本体を取り外してください。

建付け調整(丁番による調整)

ドアの吊り込み後、どの開閉に支障がないかご確認ください。
ドアが枠に干渉するなど、ドアの開閉に支障がある場合は以下の手順で建付け調整を行ってください

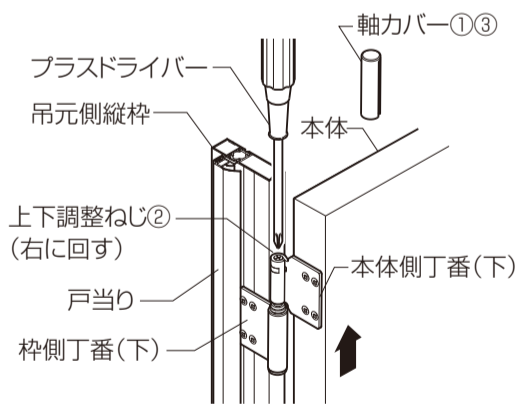
※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

※電動ドライバーは使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



【上下方向の建付け調整】

- ①本体側丁番(下)の軸カバーを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
※ドア本体は上方向に3mmまで調整できます。
- ③軸カバーをはめる。

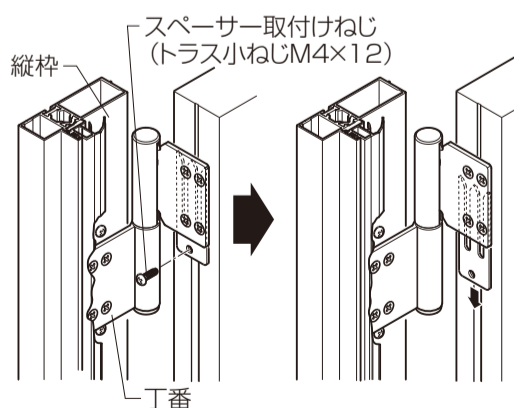


【左右方向の建付け調整】

- ※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。
- ①スペーサー取付けねじを外します。
 - ②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
 - ③スペーサーを引き抜いて外します。
 - ④丁番ねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊り元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

注意

●丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

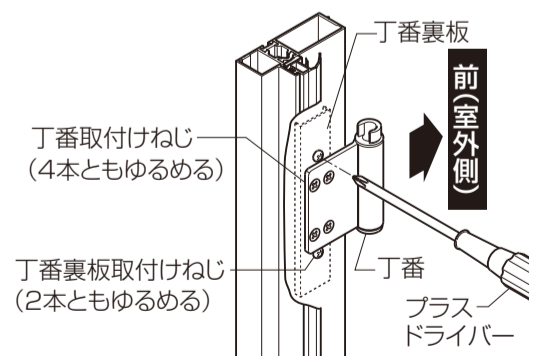


【前後(室内・室外側)方向の建付け調整】

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。
- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にズラすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

注意

●丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }) ドア本体の脱落の原因となります。



お願い

※取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落します。